2026年11月2日の電力需給

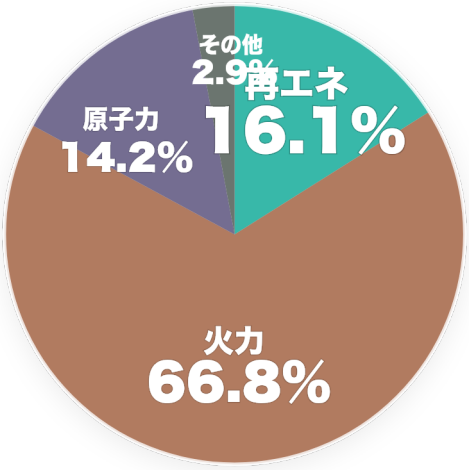
全国

△ 全国合計需要ピーク
10,122万kW
11時、101,224 MW（10エリア同時刻合計）

☀ 太陽光ピーク
1,081万kW
12時30分、10,807 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
156万kW
23時30分、1,565 MW

◇ 再エネ最大需要比
21.3%
12時30分、需要に対する割合



↔ 最大受電エリア
東京
102 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
98.8 GWh

概況

再エネ比率トップ

北陸 31.8%

23.7 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

19.8 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、16:30に3,255万kWでした。
- 再エネ比率は北陸が最も高く、発電電力量ベースで31.8%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**16.1%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**337 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,098 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**21.3%**	12時30分
出力抑制量	**0.0 GWh**	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	**19.8 GWh**	発電構成比には含めない

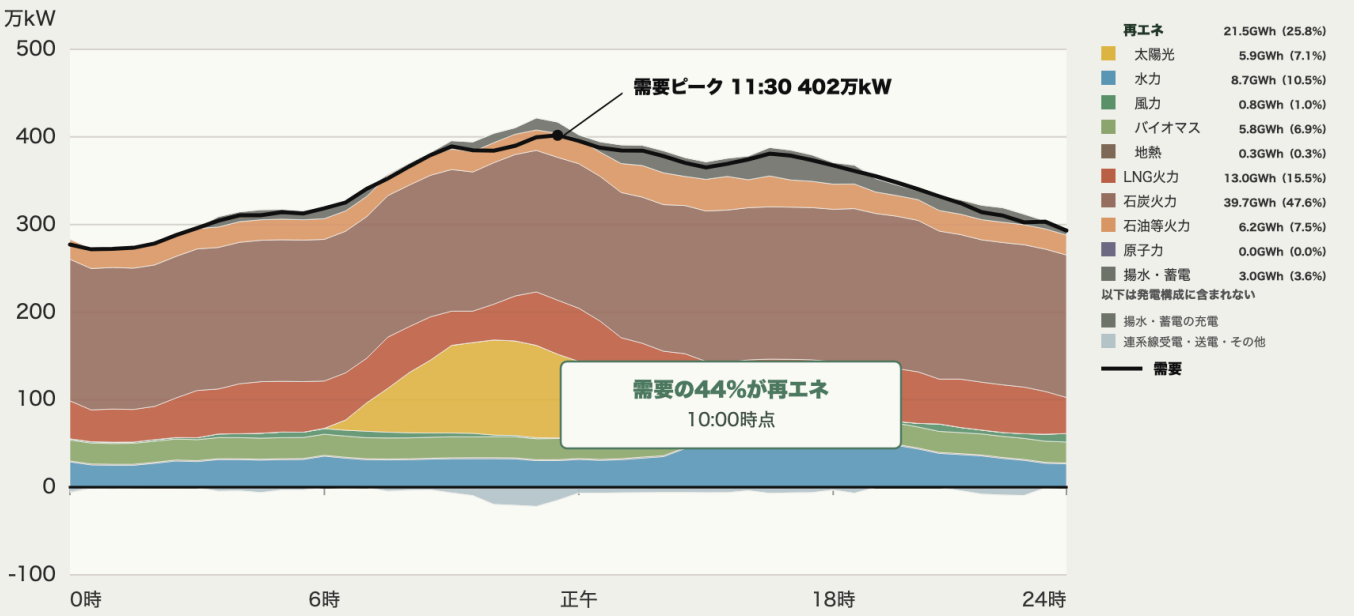
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**25.8%**	**21.5**	**0.0**	**送電 1.2**
東北	**19.2%**	**58.8**	**0.0**	**送電 98.8**
東京	**10.0%**	**56.2**	**0.0**	**受電 102**
中部	**16.6%**	**42.7**	**0.0**	**受電 72.8**
北陸	**31.8%**	**23.7**	**0.0**	**送電 6.4**
関西	**11.1%**	**33.3**	**0.0**	**受電 42.4**
中国	**16.9%**	**26.3**	**0.0**	**送電 17.5**
四国	**17.9%**	**19.1**	**0.0**	**送電 46.4**
九州	**22.6%**	**52.6**	**0.0**	**送電 24.7**
沖縄	**12.0%**	**2.7**	**0.0**	—

2026年11月2日の供給実績

北海道エリア

再エネ
21.5GWh
（発電電力量ベース25.8%）

北海道エリア 2026年11月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
83.4GWh

需要ピーク
11:30、402万kW

連系線・その他
1.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

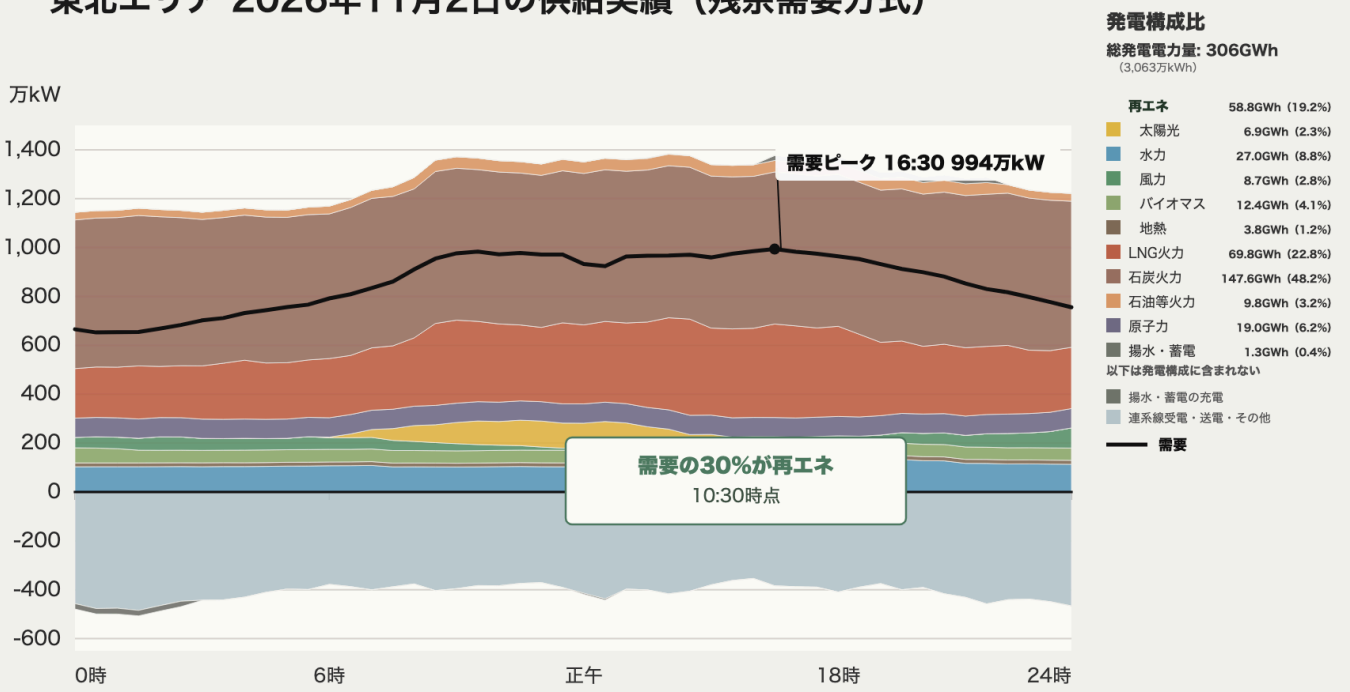
北海道は、太陽光ピーク109万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は43.8%だった。

2026年11月2日の供給実績

東北エリア

再エネ
58.8GWh
（発電電力量ベース19.2%）

東北エリア 2026年11月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
306.3GWh

需要ピーク
16:30、994万kW

連系線・その他
98.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.7GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

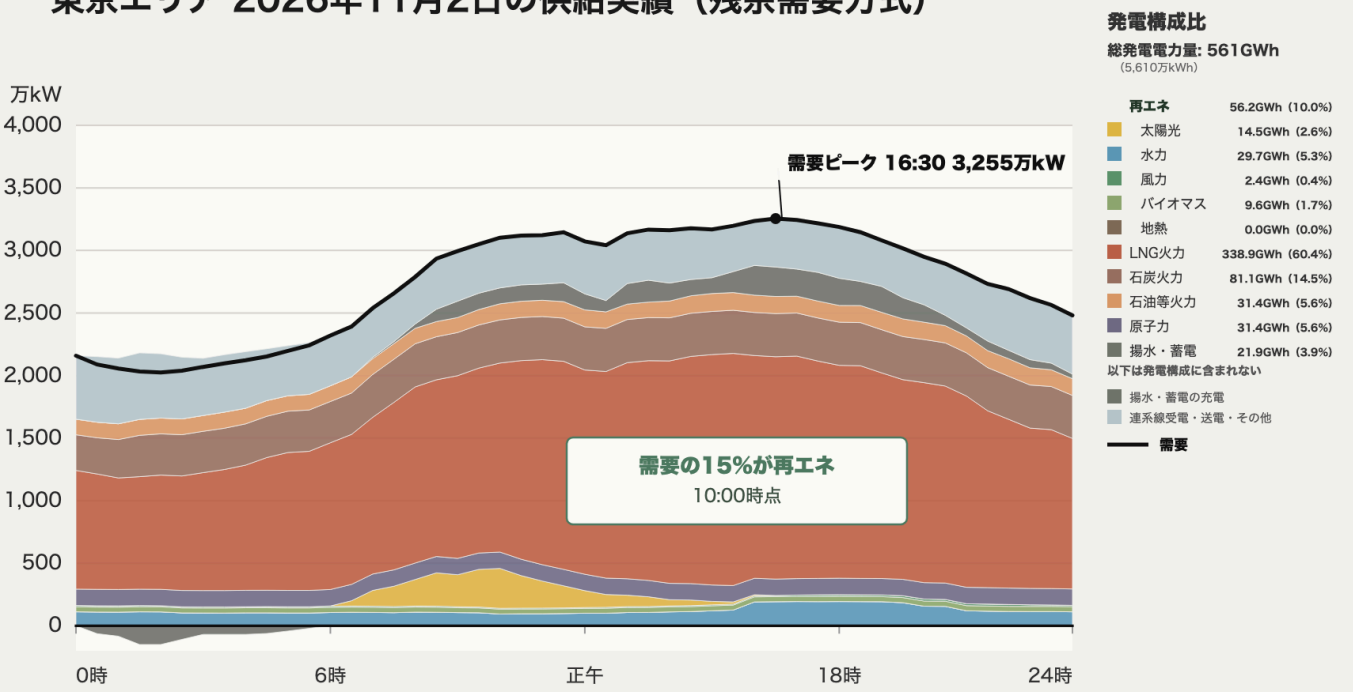
東北は、太陽光ピーク108万kW、風力ピーク82万kWで、時間別の再エネ最大需要比は34.7%だった。

2026年11月2日の供給実績

東京エリア

再エネ
56.2GWh
（発電電力量ベース10.0%）

東京エリア 2026年11月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
561.0GWh

需要ピーク
16:30、3,255万kW

連系線・その他
101.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

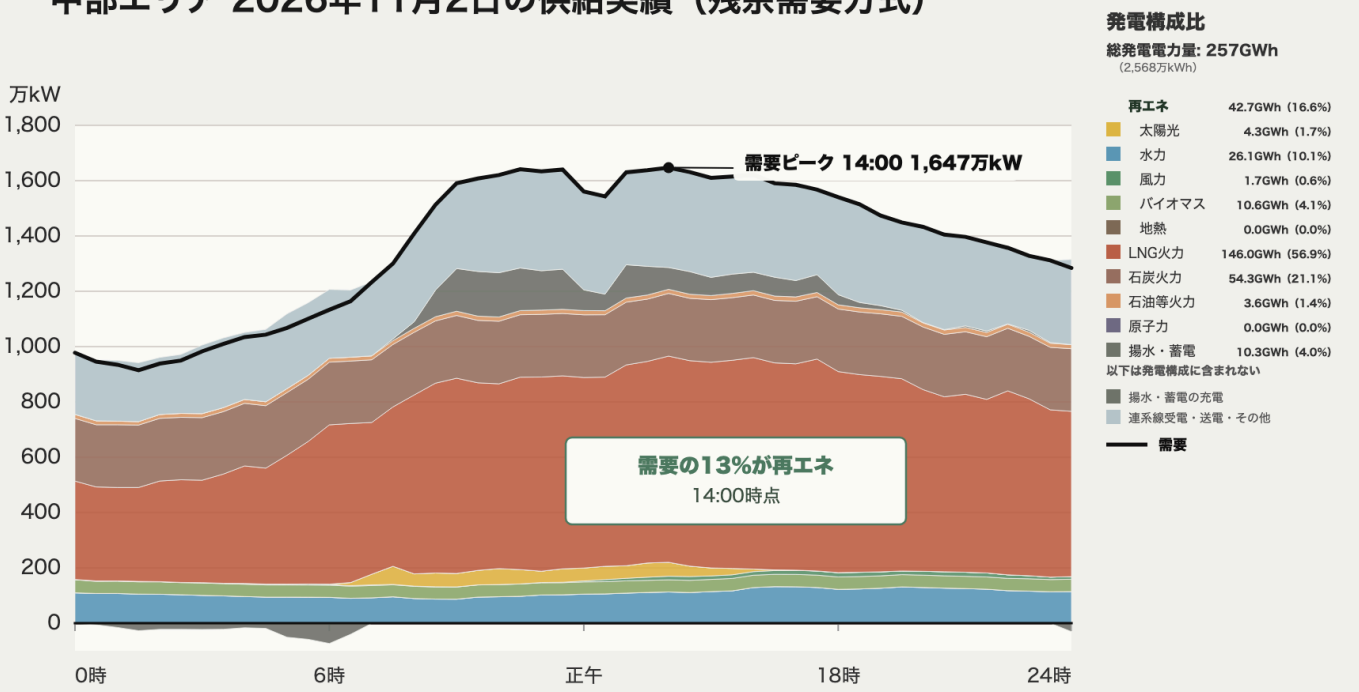
東京は、太陽光ピーク319万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は14.8%だった。

2026年11月2日の供給実績

中部エリア

再エネ
42.7GWh
（発電電力量ベース16.6%）

中部エリア 2026年11月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
256.8GWh

需要ピーク
14:00、1,647万kW

連系線・その他
72.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
2.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

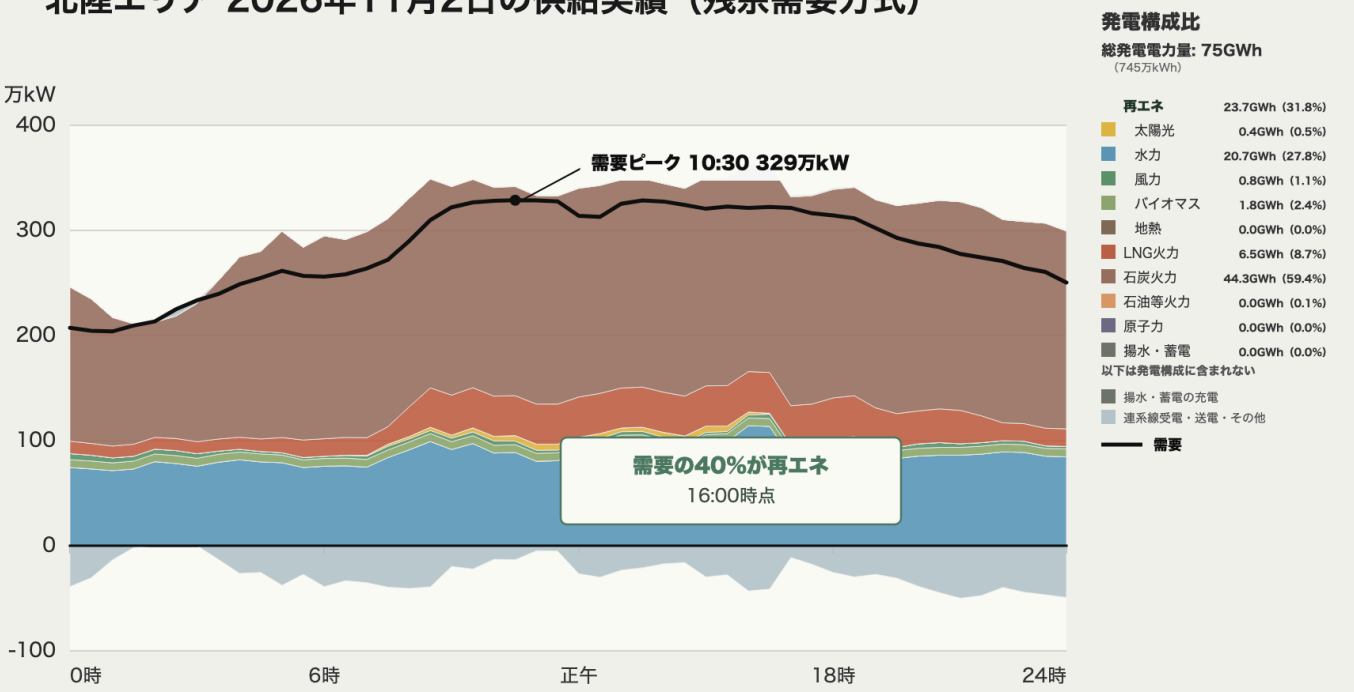
中部は、太陽光ピーク65万kW、風力ピーク15万kWで、時間別の再エネ最大需要比は16.5%だった。

2026年11月2日の供給実績

北陸エリア

再エネ
23.7GWh
（発電電力量ベース31.8%）

北陸エリア 2026年11月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
74.5GWh

需要ピーク
10:30、329万kW

連系線・その他
6.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

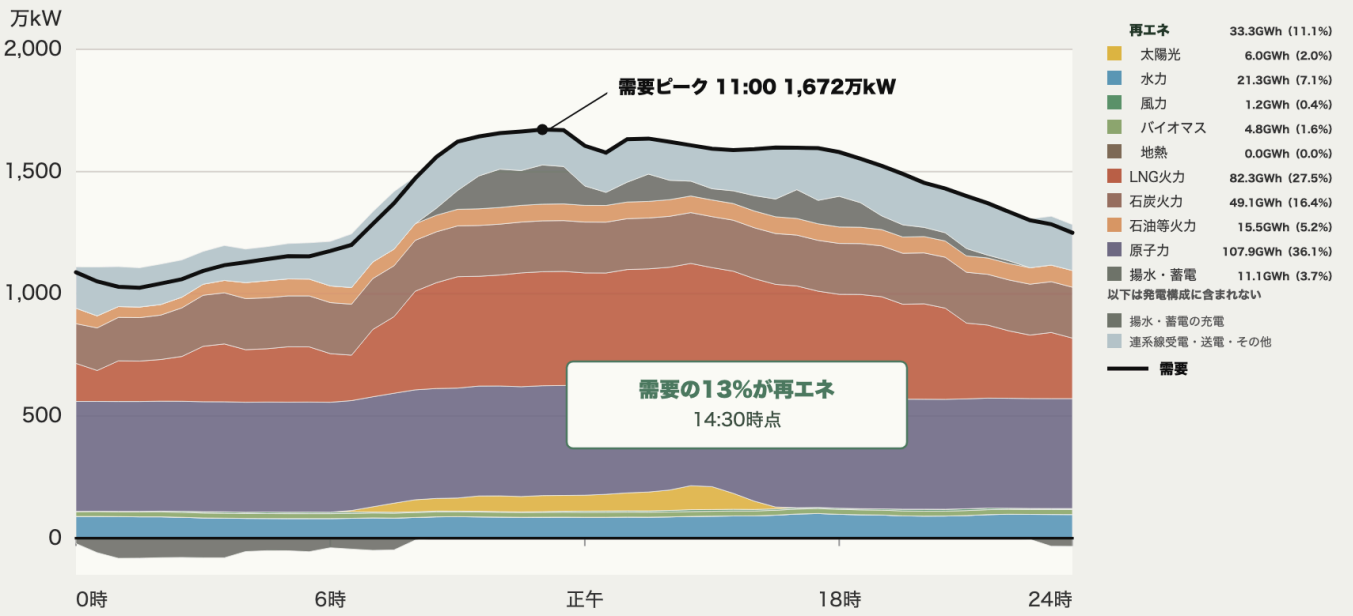
北陸は、太陽光ピーク7万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は43.1%だった。

2026年11月2日の供給実績

関西エリア

再エネ
33.3GWh
（発電電力量ベース11.1%）

関西エリア 2026年11月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
299.2GWh

需要ピーク
11:00、1,672万kW

連系線・その他
42.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電
5.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

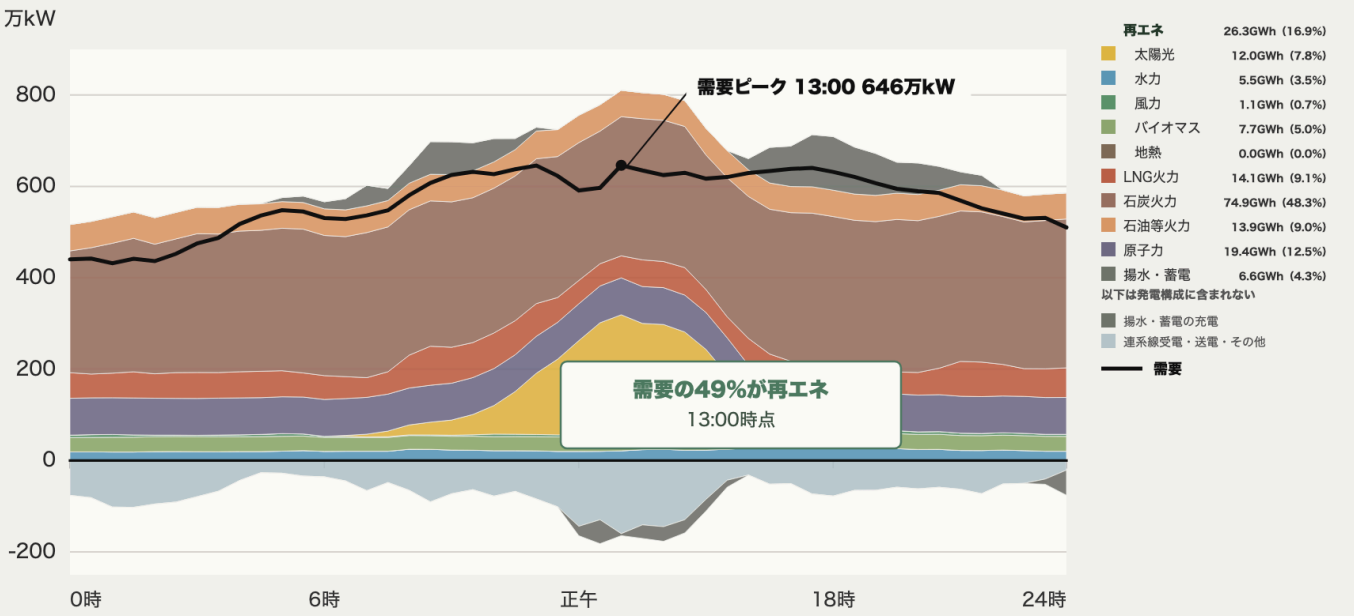
関西は、太陽光ピーク98万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は13.4%だった。

2026年11月2日の供給実績

中国エリア

再エネ
26.3GWh
（発電電力量ベース16.9%）

中国エリア 2026年11月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
155.1GWh

需要ピーク
13:00、646万kW

連系線・その他
17.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

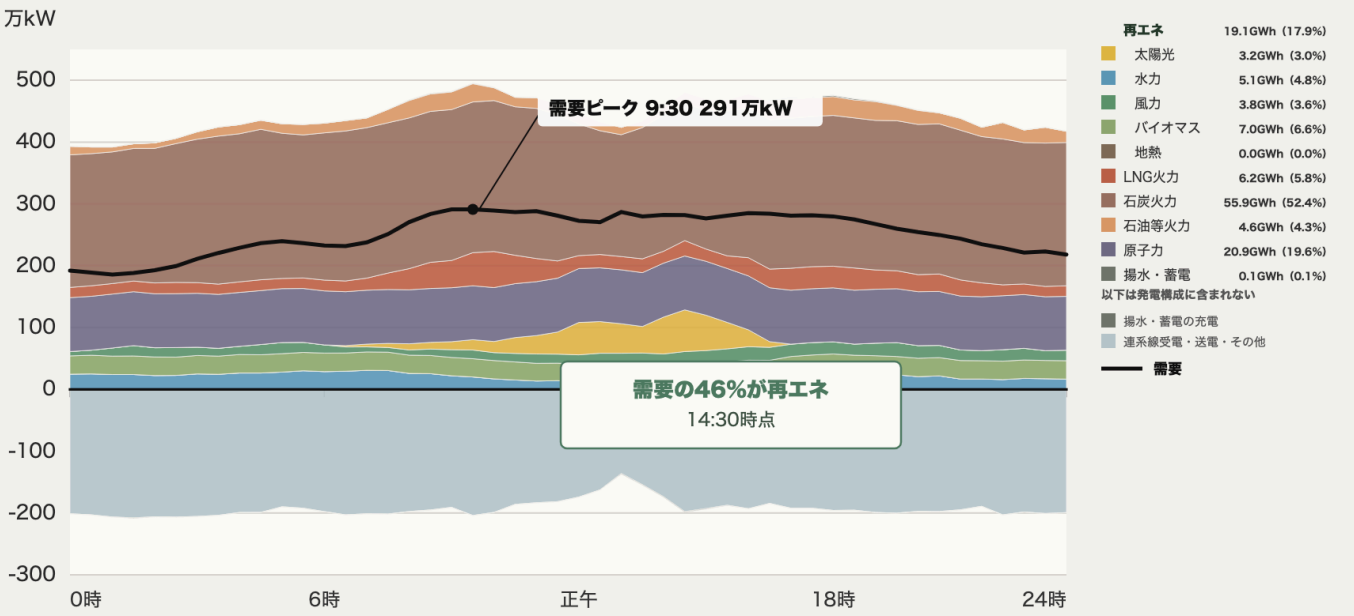
中国は、太陽光ピーク261万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は50.5%だった。

2026年11月2日の供給実績

四国エリア

再エネ
19.1GWh
（発電電力量ベース17.9%）

四国エリア 2026年11月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
106.8GWh

需要ピーク
9:30、291万kW

連系線・その他
46.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

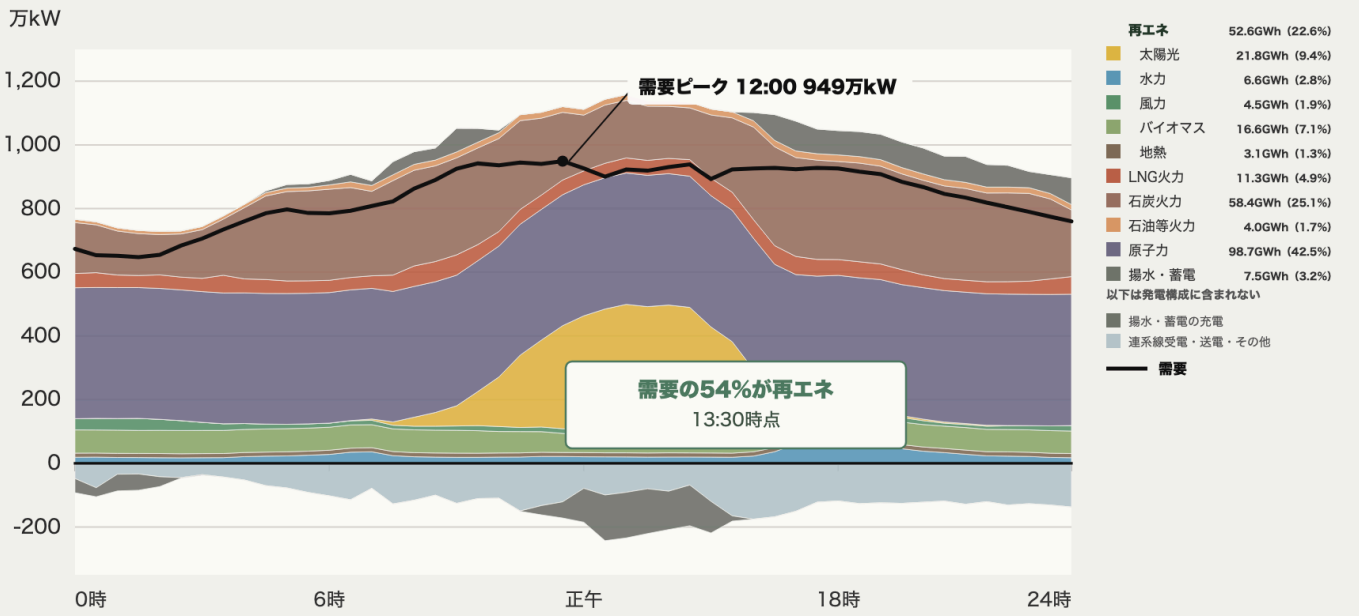
四国は、太陽光ピーク67万kW、風力ピーク22万kWで、時間別の再エネ最大需要比は45.6%だった。

2026年11月2日の供給実績

九州エリア

再エネ
52.6GWh
（発電電力量ベース22.6%）

九州エリア 2026年11月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
232.4GWh

需要ピーク
12:00、949万kW

連系線・その他
24.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
5.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

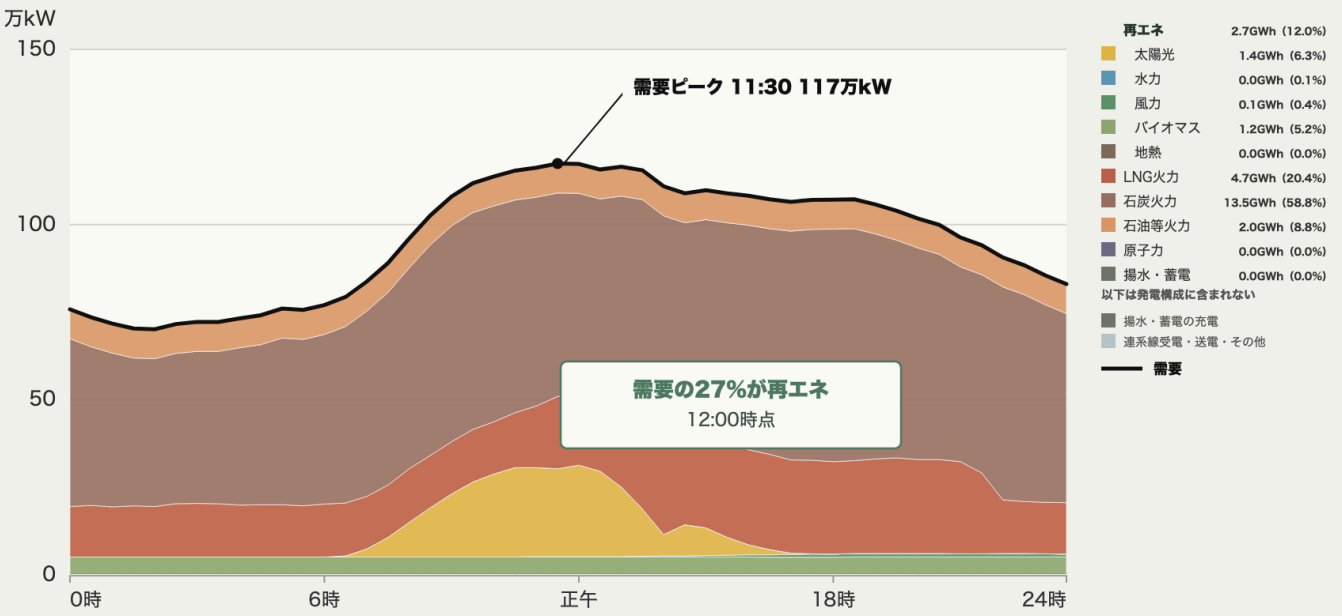
九州は、太陽光ピーク390万kW、風力ピーク38万kWで、時間別の再エネ最大需要比は54.1%だった。

2026年11月2日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.8GWh
（発電電力量ベース12.0%）

沖縄エリア 2026年11月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
22.9GWh

需要ピーク
11:30、117万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク26万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は26.7%だった。